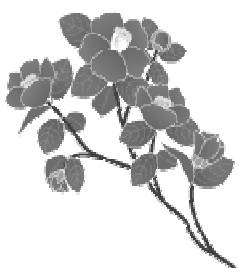


# 本住寺便り

（平成二十七年雨水旧正月号）



「法華経修行の者の所住の処を浄土と思ふべし。」

何ぞ煩わしく他処を求めんや」

（高祖日蓮聖人・守護国家論）

節分も過ぎ、平成二十七年乙未歳（二〇一五）も本格的に始まりました。今年  
の旧正月は二月十九日で、二十四節気の雨水にもあたります。

冒頭のお言葉は、法華経を修行する者の求める浄土はどこにあるのか、という問い  
に対しての高祖日蓮聖人のお答えです。

法華経「寿命品」には、仏は常にこの娑婆世界にあり、常にここに住み、仏の住む  
この世界は平和であって毀れることもない。また「神力品」には、この経をたもつ者の  
いる処はそこがどこでも、その処が道場、即ち仏のいる場所であると説かれている。  
だから、法華経を信ずる者は仏の世界をよそに探すのではなく、この経を信ずる人、  
修行する人のいる処、即ちそこが浄土だと、説かれているのです。

さて私たちは、この地球上では「四つのファクター」で辛うじて生かされています。  
一つ目は「18 cmの土壌」  
地球の大地を平均すると土壌は18 cmしかなく、そこで  
食糧を生産しています。二つ目は「15 kmの大気（酸素）」  
私たちが吸っている酸素の  
95%は、地球の対流圏の15 kmにしかありません。三つ目は「3 mmのオゾン」  
対流  
圏から約45 kmの上空にあるオゾン層は有害な紫外線を遮断してくれています。四つ目は、  
零℃1気圧で地表に下ろすと、たった3 mmにしかありません。非常に脆く度重なる  
衛星やロケットの打ち上げでも、かなり破壊されているそうです。そして四つ目が  
「11 mmの水」  
土の中の使える水は平均するとたった11 mmにしかありません。私たちが使っている水は、  
平成十七年（二〇〇五）三月二十二日から来月同日の「世界水の日」までは、  
にもかかわらず、この四つの要素を乱し続けているのが私たち人間です。

「命のための水」国際の十年という  
十年間でした。近年の気候変動  
により高まる水にまつわる災害  
の様子では、世界は極めて厳しい  
状況にあるようです。

絶妙なバランスの上に成り立つ  
この世界  
浄土をこれ以上乱さ  
ないためにも、まずは身近な土や  
水や空気などの問題にも関心を  
寄せて生きたいものです。

## 妙見山 本住寺

倉敷市真備町服部一五八七

〇八六（六九八）九七七〇

ホームページ <http://www.honjuzi.com/>

\*仏事に関すること等でお悩みやお困りごと等が  
ございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

\*法事のご予約はお早目にお願いたします。

お寺の都合によりご希望される日時でもお受け  
できない場合がございますので、ご了承ください。

# 妙見山本住寺

平成二十七年

# 年間行事予定表



一月	五日 ～七日	新年初祈禱	随時祈禱を受け付けました (住職祈禱済みの開運善哉のお接待)
二月	三日	節分豆まき	最上稻荷の福豆は：
三月	二十二日	春のお彼岸(午後2時～)	ご先祖さまの供養をいたします (卒塔婆供養は別途受付)
四月	三日	開山大覚大僧正御命日	本年は第六五二回忌です
五月	二日 十日 二十四日	春の妙見さま(旧三月十四日) 境内清掃(1班 関屋) 花まつり(午前10時～) ※総代世話人会(昼食付)	遠田講中の皆さまと妙見堂でお経 よろしくお願ひいたします お花と甘茶を誕生仏に捧げます (甘茶とお菓子のお接待有り) 法要の後、昼食をどりながら、 『総代世話人会』を執り行います
六月	二十日	観音経写経 納経会	書きためたお写経をお清めして 御宝前へ納めます
七月	十二日	境内清掃(2班 谷本・金谷)	よろしくお願ひいたします
八月	十日 ～十五日	お盆のお経回り	皆さまのお家へお経に参ります
九月	十三日 二十三日 二十六日	境内清掃(3班 吉則・玉島) 秋のお彼岸(午後2時～) 秋の妙見さま(旧八月十四日)	よろしくお願ひいたします ご先祖さまの供養をいたします (卒塔婆供養は別途受付) 遠田講中の皆さまと妙見堂でお経
十一月	八日	境内清掃 (4班 有井・呉妹・二万)	よろしくお願ひいたします
十二月	二十三日 二十九日	御会式(旧曆十月十二日夕) ※総代世話人(回向袋) 観音経写経 納経会	日蓮聖人のご命日にあたり、本堂にて法要を行います(お接待有り) 書きためたお写経をお清めして 御宝前へ納めます

## ◆◆◆ 本住寺 信行会 ◆◆◆

本住寺では、月に一度、お題目を中心にお経や作法を楽しく実践する『信行唱題会』と、本堂で心静かに観音経のお写経をする『観音経写経会』を開催しております。初心者歓迎！どなた様でも簡単にご参加いただけますので、興味がある方は是非お気軽にお越しください。

信行唱題会 毎月第2火曜日 午後2時より  
観音経写経会 毎月第3土曜日 午前10時～午後7時